

2014年度 業績のご報告



株式会社アイフィスジャパン



2015/2/2

- I** 2014年12月期 決算概要
- II** 部門別業績推移
- III** 新規事業の展開について
- IV** 2015年度業績見込み

I 2014年12月期 決算概要

市場環境は堅調で、全体として業績も順調に推移したが、売上計画は若干の未達成
利益の高いソリューションサービス及び受託開発が好調により、利益計画は達成

(単位:百万円)

(連結)	計画	実績	計画比
売上高	3,800	3,708	2.4%
経常利益	350	392	+12.1%
当期純利益	225	265	+18.2%
一株配当金	4円50銭	5円00銭	+50銭

計画は、2014年1月31日公表値を用いております。

利益配当については2015年3月20日に開催予定の当社定時株主総会に付議する予定であります。

金融市場は好調を維持しつつも昨年の伸びが無く、当社売上計画は若干の未達成
ドキュメントのシステムソリューションとその派生印刷の好調により利益計画は達成

(単位:百万円)

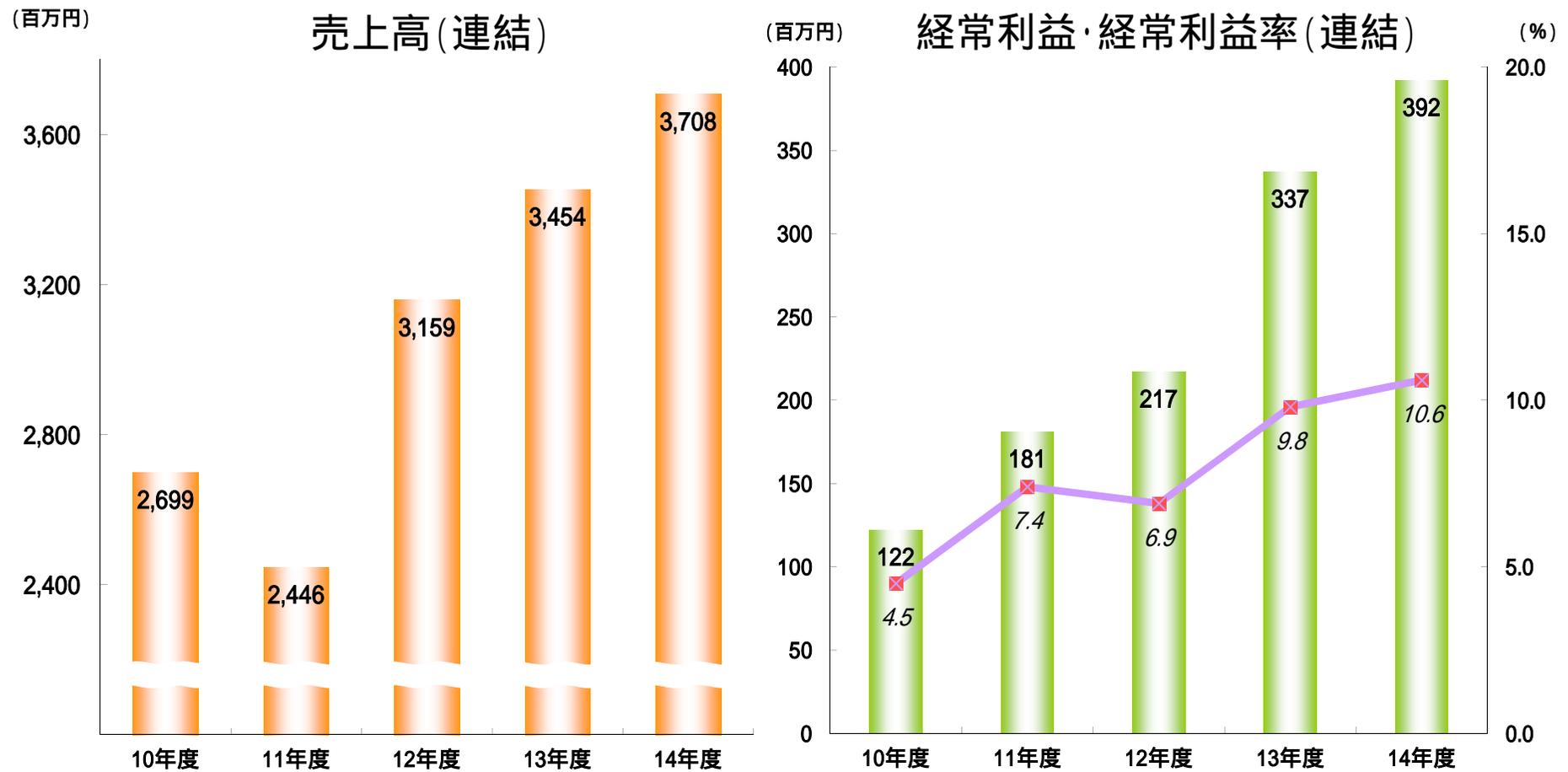
(単体)	計画	実績	計画比
売上高	2,500	2,494	0.2%
経常利益	250	272	+9.2%
当期純利益	150	166	+10.7%

計画は、2014年1月31日公表値を用いております。

	項目	2013年度	2014年度	前期比
連結	売上高(百万円)	3,454	3,708	+7.4%
	営業利益(百万円)	318	380	+19.5%
	経常利益(百万円)	337	392	+16.4%
	当期純利益(百万円)	220	265	+20.6%
	1株当たり当期純利益(円銭)	22.84	27.53	+20.5%
単体	売上高(百万円)	2,265	2,494	+10.1%
	営業利益(百万円)	228	263	+15.5%
	経常利益(百万円)	236	272	+15.5%
	当期純利益(百万円)()	177	166	6.5%
	1株当たり当期純利益(円銭)()	18.40	17.20	6.5%

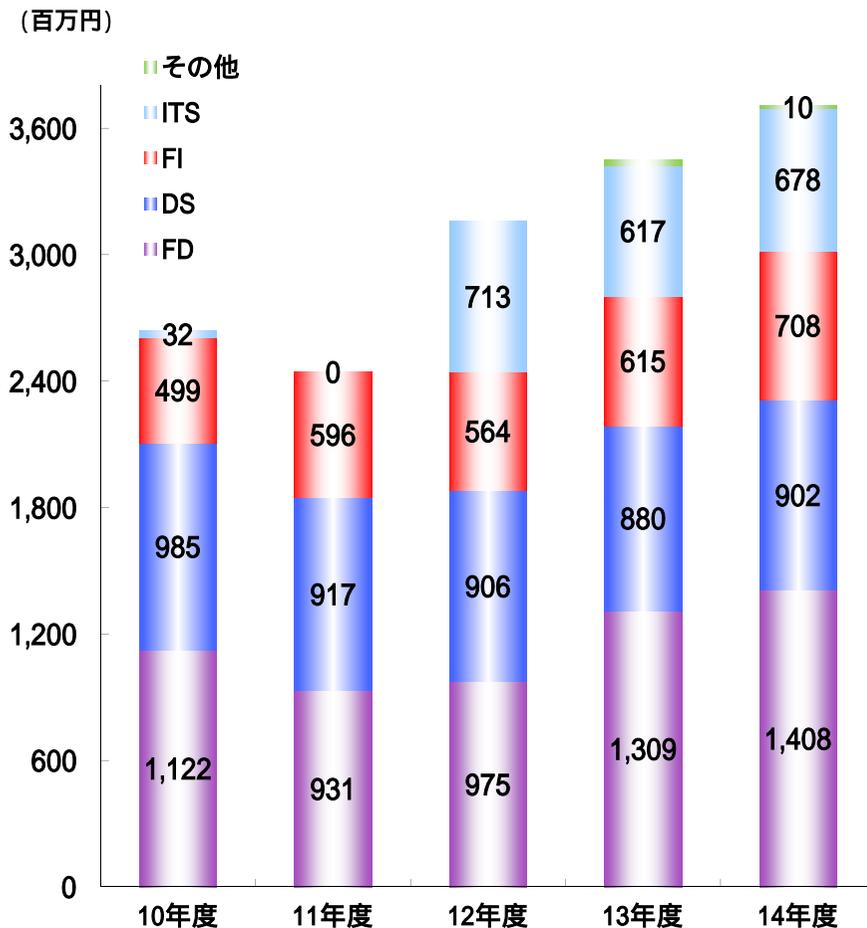
2013年の単体当期純利益は子会社向け貸付金に対する貸倒引当金の取崩額41百万円(特別利益)が含まれております。
2014年当期純利益は前期比6.5%の減益となっておりますが、取崩額を除いた2013年当期純利益(136百万円)との比較では22.1%の増益となります。

全体として市場の好調持続を追い風に、売上は過去最高値を更新



既存4事業(FD、DS、FI、ITS)全てで増収増益を達成

事業部別の主な増減要因

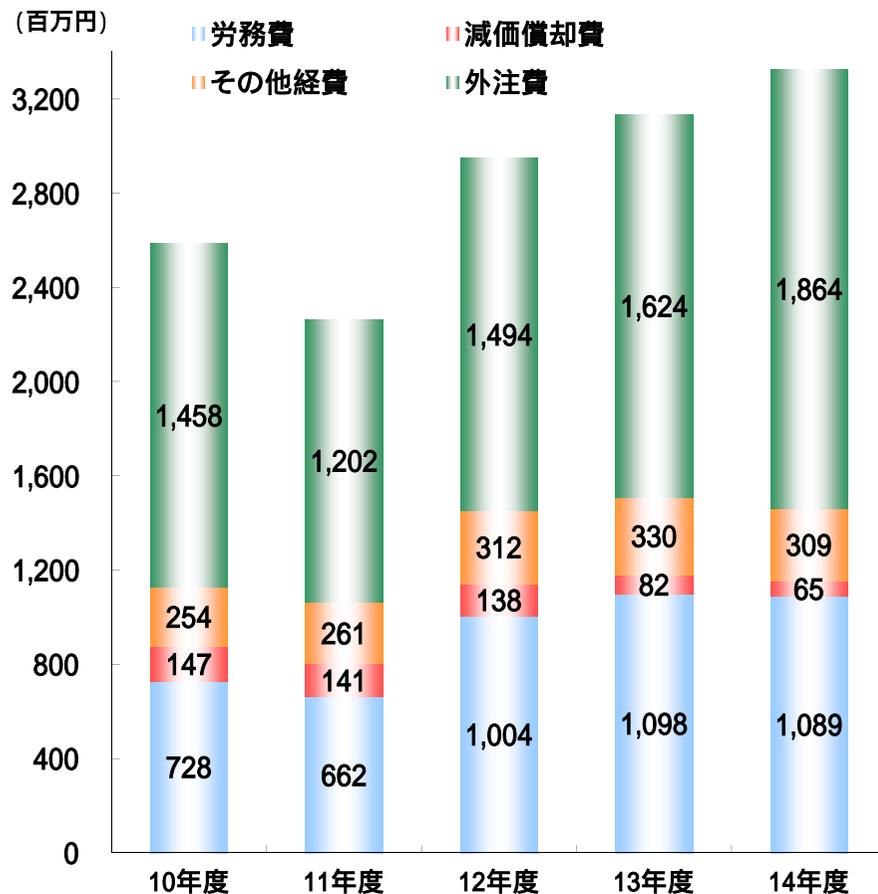


- ◆ FD (ファンドディスクロージャー)・投資信託市場好調により増収維持
- ◆ DS (ドキュメントソリューション)・・・減収傾向に歯止め
- ◆ FI (投資情報)・・・ソリューション案件を中心に好調
- ◆ ITS (ITソリューション)・・・ソリューションは維持、受託開発好調
- ◆ その他 (eビジネス等)・・・ECワンストップサービス推進中

(単位:百万円)

	13年度	14年度	増減
◆ FD	1,309	1,408	+98
◆ DS	880	902	+21
◆ FI	615	708	+93
◆ ITS	617	678	+60
◆ その他	30	10	20

増収に伴い、外注費が増加傾向、経費は効率化追求にて現状維持



経費の増減傾向

外注費：売上増に比例して増加

その他経費：減少傾向続く

減価償却費：大口の設備投資無く減少傾向続く

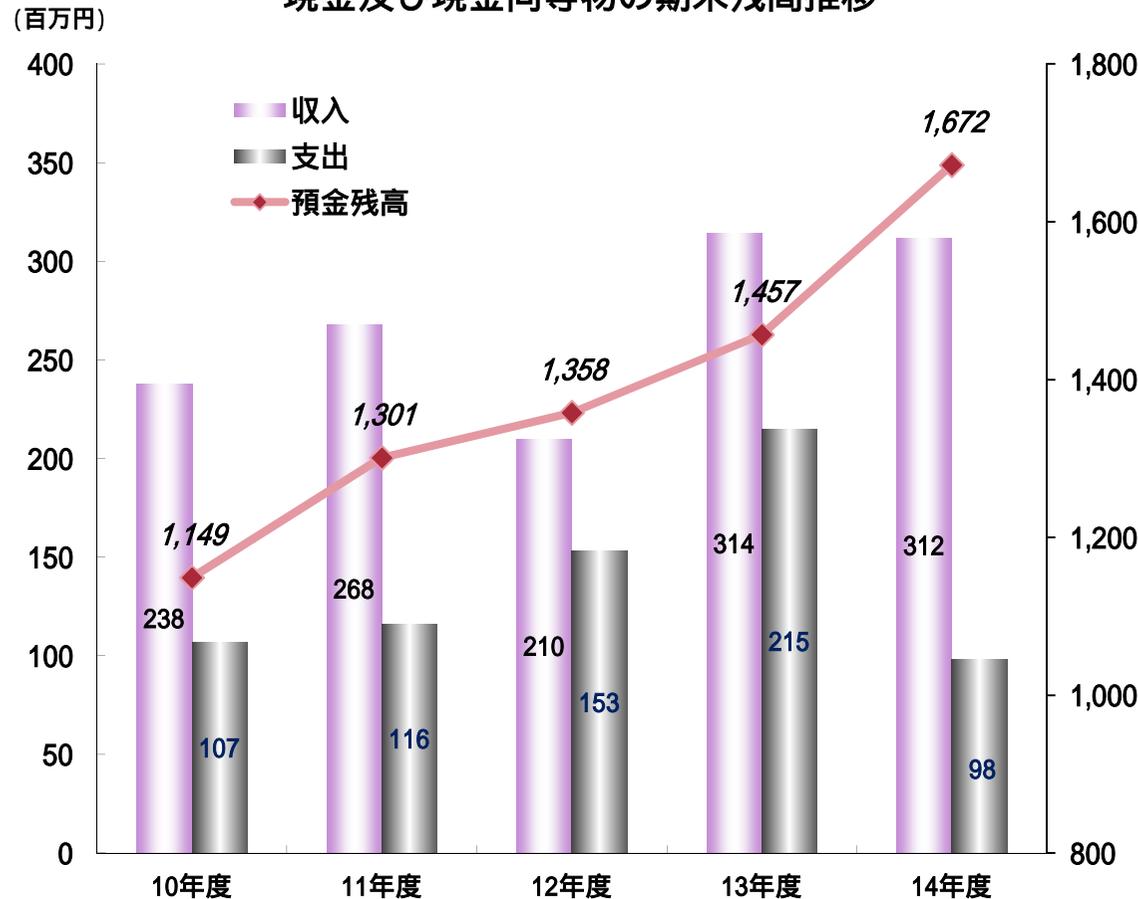
労務費：業務分担の効率化により労務費は現状維持

(単位:百万円)

	13年度	14年度	増減
◆ 外注費	1,624	1,864	+240
◇ その他経費	330	309	29
◇ 減価償却費	82	65	17
◆ 労務費	1,098	1,089	9

営業活動による収入は昨年維持、支出はM & A等が無く抑制

現金及び現金同等物の期末残高推移



キャッシュフローの主要な内訳

営業活動CF
 税前利益 + 392百万、減価償却費 + 67百万
 法人税等支払 137百万
 投資活動CF
 設備投資 25百万、子会社株追加 55百万
 オフィス保証金回収 + 29百万
 財務活動CF
 配当支払 43百万

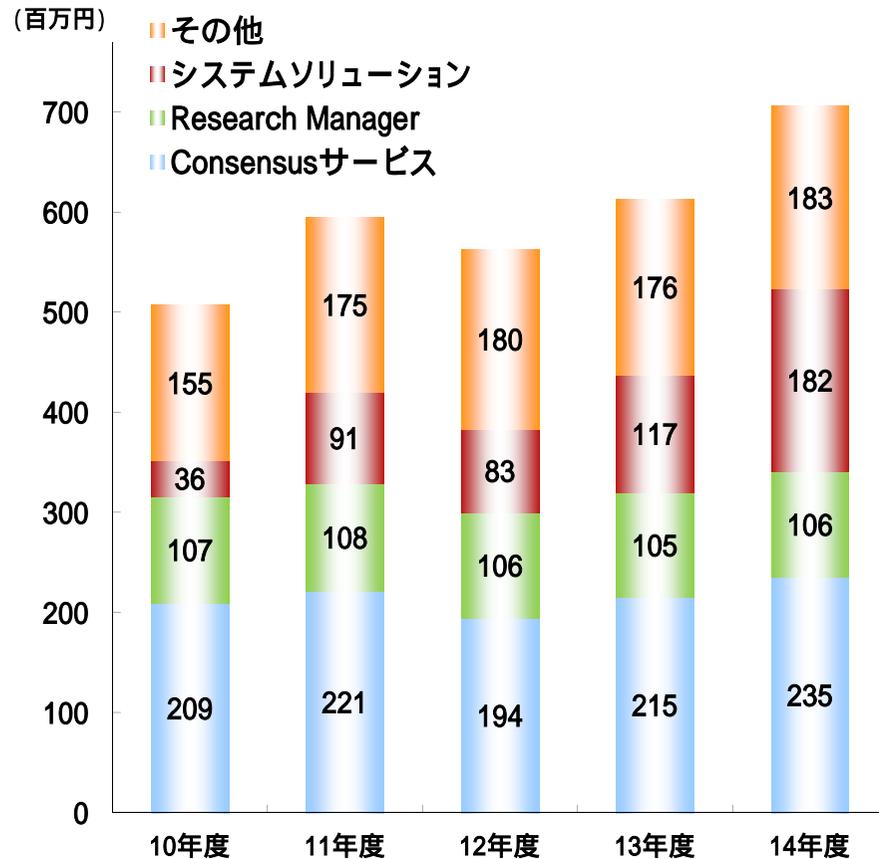
(単位: 百万円)

	13年度	14年度	増減
営業活動によるCF	314	312	2
投資活動によるCF	183	55	+128
財務活動によるCF	32	42	10
現金期末残高	1,457	1,672	+214

II 部門別業績推移

主要サービス実績

証券会社向けのシステムソリューションやConsensusサービスが好調
それ以外の商材も堅調に推移

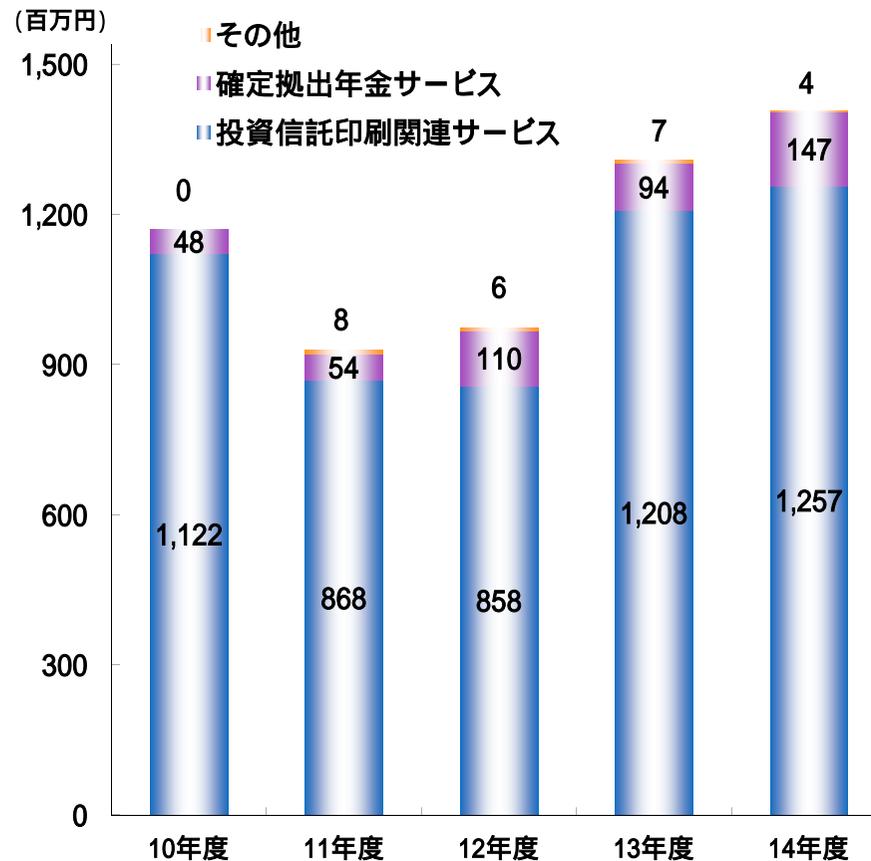


< 14年度売上構成 >

- ◆ Consensusサービス
235百万円(前年同期比 109.7%)
ASP、広告収入好調
- ◆ Research Manager
106百万円(前年同期比 100.9%)
現状維持
- ◆ システムソリューション
182百万円(前年同期比 155.7%)
新規顧客獲得により大幅に拡大
- ◆ その他情報サービス
183百万円(前年同期比 103.7%)
新規サービス投入も微増に止まる

主要サービス実績

証券市場の好況を追い風に、投資信託関連サービスの増加傾向が続く
確定拠出年金向けサービスも大幅増

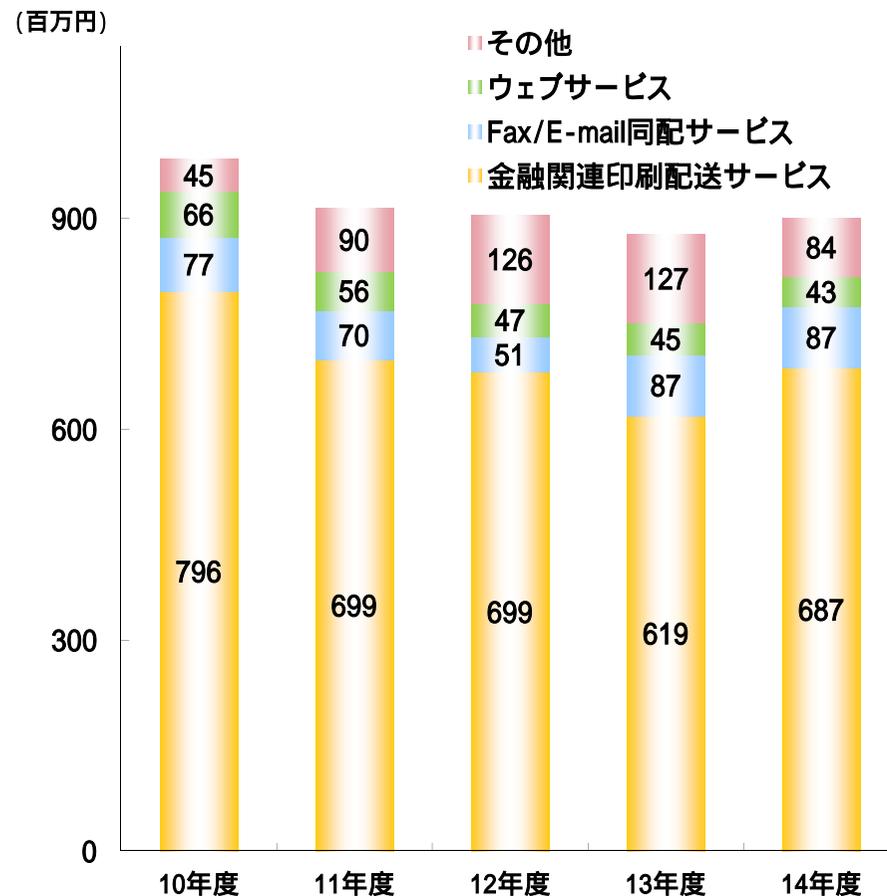


< 14年上期売上構成 >

- ◆ 投資信託印刷関連サービス
1,257百万円(前年同期比 104.0%)
市場好調、追い風
- ◆ 確定拠出年金サービス
147百万円(前年同期比 156.6%)
システム、印刷サービス共に好調
- ◆ その他
4百万円(前年同期比 56.4%)

主要サービス実績

売上減少傾向は歯止めとなる



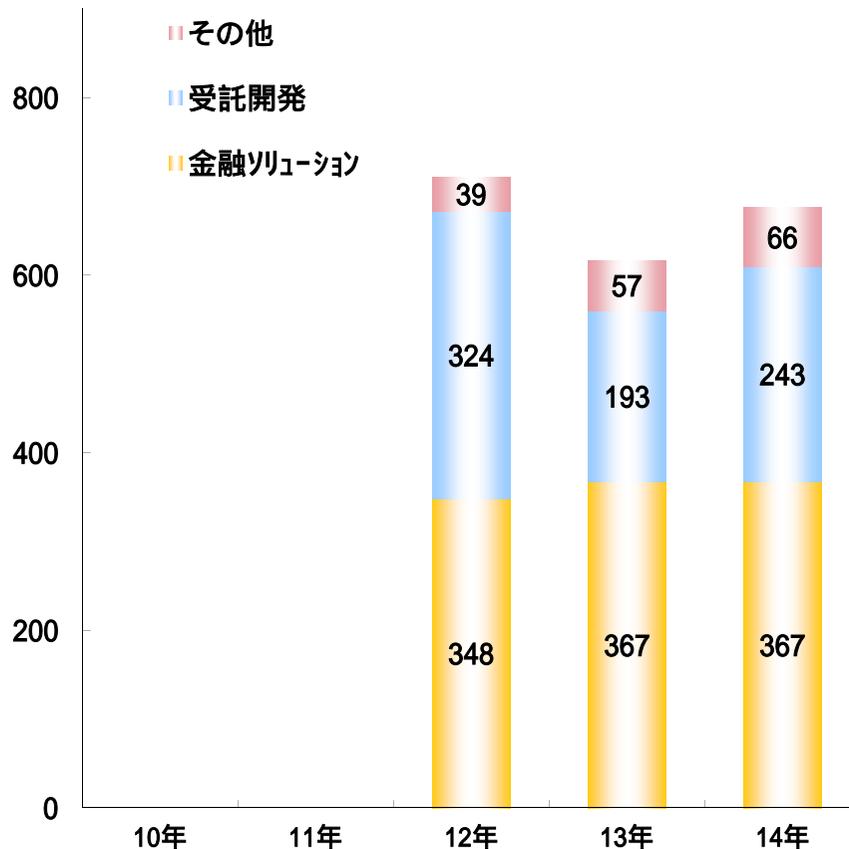
< 14年上期売上構成 >

- ◆ 金融関連印刷配送サービス
687百万円(前年同期比 110.0%)
大口案件の受注により好調
- ◆ Fax/E-mail同報配信サービス
87百万円(前年同期比 100.0%)
現状維持
- ◆ ウェブサービス
43百万円(前年同期比 94.7%)
事業法人向けASPサービス微減
- ◆ その他
84百万円(前年同期比 65.8%)
翻訳サービス不調

主要サービス実績

成長軌道へ戻ったが、2012年水準までは届かず

(百万円)



< 14年度売上構成 >

◆ 金融ソリューションサービス

367百万円(前年同期比 100.2%)

SE派遣、堅調に推移

◆ 受託開発サービス

243百万円(前年同期比 125.9%)

大口案件、新規顧客獲得

◆ その他サービス

66百万円(前年同期比 116.3%)

タブレットソリューション開発完了

ITソリューション事業は、12年4月より連結

Ⅲ 新規事業の展開について

「eビジネス事業本部」を創設し、EC支援事業を加速

これまでに金融業界向けに培ってきたIT、BPO、翻訳、物流などの各サービスを統合して、EC市場へとサイト構築からマーケティング、運営、物流、カタログまでフルフィルメントでサービス展開

2014年8月

ECワンストップサービスリリース

- ◆ テストマーケティング実施
5月~7月
- ◆ 展示会出展
リードエキシビジョンジャパン
通販ソリューション展に出展
10月29・30・31日
- ◆ アライアンスパートナー強化
システム構築関連 5社
サイト制作関連 2社
ECマーケティング系 3社
決済代行系 3社

見込み顧客増大
案件増加

2015年度

新体制スタート

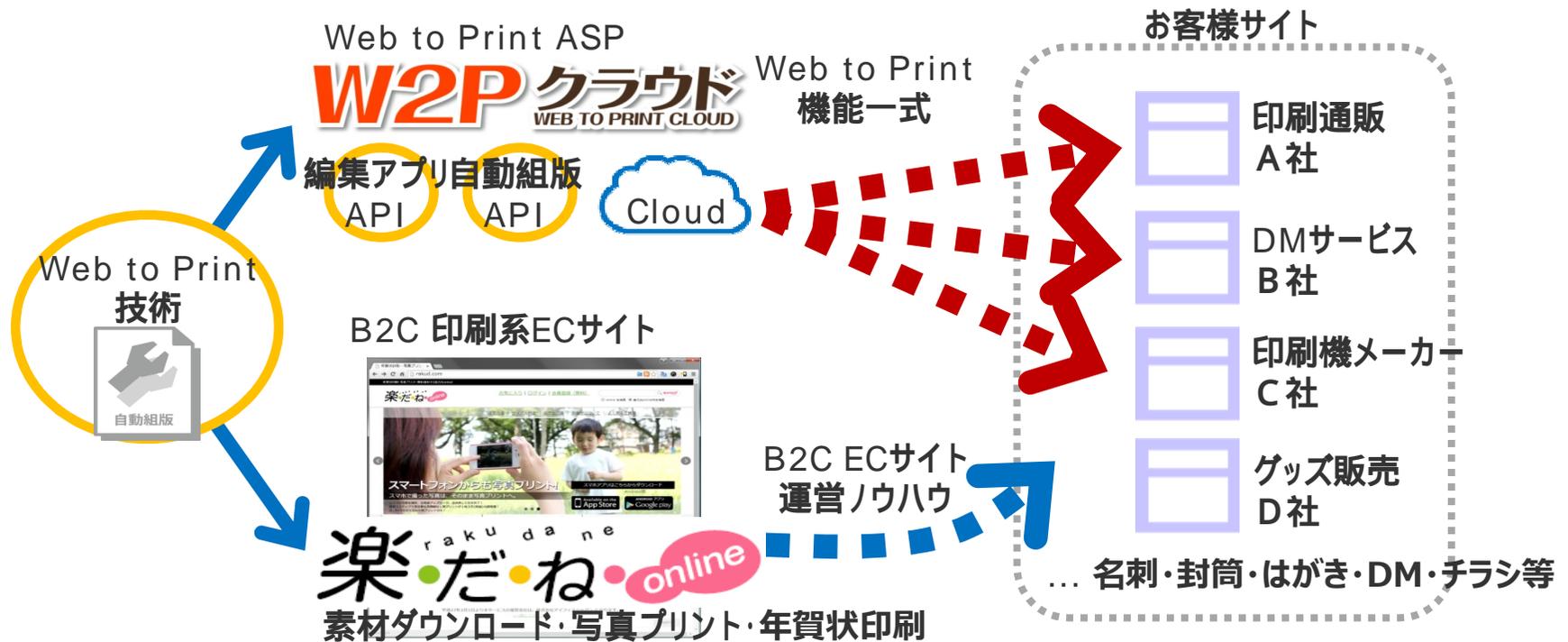
- ◆ eビジネス事業本部を設立
⇒ EC市場向けBPO支援業務に
リソースを集中
- ◆ 国内外のアライアンスパートナーとの
協業も含めた営業活動の本格化

事業化を推進/売上拡大

2015年1月、Web to Print 技術を取得

株式会社クレオネットワークスよりメディアプラットフォーム事業を事業譲渡により取得
当社ドキュメントソリューション事業部で進めているネットプリント事業とのシナジーを見込む

プレビュー/編集を必要とするネット印刷サイトにASPで提供



“Web to Print”とは：Web上でレイアウト編集を行い印刷データを生成するシステムの総称

IV 2015年度業績見込み

2015年12月期(連結)

項目	2014年度 (実績)	2015年度 (予想)	実績比
売上高(百万円)	3,708	4,100	+ 10.6%
営業利益(百万円)	380	480	+ 26.3%
経常利益(百万円)	392	480	+ 22.3%
当期純利益(百万円)	265	310	+ 16.6%

2015年12月期(単体)

項目	2014年度 (実績)	2015年度 (予想)	実績比
売上高(百万円)	2,494	2,700	+ 8.2%
経常利益(百万円)	272	320	+ 17.3%
当期純利益(百万円)	166	200	+ 20.5%

ご清聴ありがとうございました。